

最旬情報

さいしゅん

横手の盛夏品

よこて
市報

No.21
2006年 8月15日号
8-15

目次 Contents

横手の盛夏品「最旬情報」 2

行政情報便
●消防訓練大会 8
●市長ですこんにちほ
ほか

地域の話
●NEWS東西南北 14

情報information
●お知らせ 16
●いどばたプラザ

読者の声 20

思えば遠くへ来たもんだ
●佐々木涼子さん(十文字) 22

巧(たくみ)
●大橋利一さん(雄物川) 23

横手遺産
●旦那門(十文字) 24



野菜生産を支える主力作物

すいか

横手市では、多くの品目の野菜が生産されている。その出荷・販売額の約半数を占めるのが「スイカ」。今や夏だけの作物ではなく、野菜生産の主力として欠かせない存在となっている。



横手の盛夏品

最新情報

例年になく長雨と低温が続いた今年の初夏。水稲を中心に秋の収穫への影響が心配されているなか一足早く、稔りの時を迎えた自慢の一品。盛夏に生まれる横手の最「旬」情報をご紹介します。

進む栽培方法の変化

横手市は、平鹿、雄物川、十文字地域を中心に管内全域でスイカ栽培が行われており、県産販売額の76・4%（平成16年度）を占める最大のスイカ産地。特に雄物川地域での栽培が盛んで、J A おものがわ西瓜共販組合では、平成12年に10億円の販売額を記録した。

しかし、普通栽培が9割以上を占め、出荷時期が7月末から8月上旬の短期間に集中することや、小玉傾向になりやすいという根本的な問題があり、その後は価格低迷が続いた。流通関係者からは出荷ピークの分散と、カット販売に対応できるような、大玉で品質の安定したスイカの提供が求められてきた。

こうした状況を打開するため、平成15年から収穫期が早く、果実の大玉化が期待できる「トンネル移動式栽培」を本格的に導入。労力調整や他産地との競争を避ける等の努力が続けられている。

●トンネル移動式栽培

定植から収穫まで、スイカの成長にあわせてトンネルを移動し、風雨などの影響を受けずに確実な栽培を行うほか、人工授粉で出荷時期をコントロールできる栽培方法。

市場価値を高める生産を

雄物川地域の佐藤徹哉さんは、トンネル移動式栽培に積極的に取り組み、年々生産量を伸ばしている若手農業後継者。小玉スイカのハウス整枝栽培、トンネル移動式栽培、普通栽培を併せて、90坪の面積に「あきた夏丸」「縞無双」などの品種を作付けしている。

佐藤さんは「スイカ栽培は重労働。農家の高齢化や後継者不足により、作付面積も年々減少している。市場から信頼され、評価を受けるには、高品質のスイカであることはもちろん、安定した数量を供給することも大切。市場価値や生産量を高めるスイカ生産に挑戦していきたい」と話している。

県内一の生産量を誇る雄物川
すいかづくりを支える若い力

佐藤徹哉さん(雄物川)





横手の盛夏品 最新情報

秋田県に適した栽培品種

新テッポウユリ

テッポウユリとタカサゴユリの交配で作り出されたもの。球根ではなく種子から栽培するため種苗費が安く、また、テッポウユリの出回りが少ない7～10月にかけて出荷が可能となることから、県では水田転作に適した露地栽培型花きとして有利な品種となっている。



ハウス型栽培をいち早く導入

横手市の花き栽培は、キク類を中心に県内最大の産地を形成。特にキク類（輪ギク、小ギク、スプレーギク）は、十文字地域を中心に販売額を伸ばしており、花き販売額全体の50%以上を占める主要品目で、東北有数の産地となっている。

このような中、種苗費の安さや出荷時期などの面から、秋田県に適した品種として栽培が進められている新テッポウユリ。増田地域で花き栽培を行っている鈴木禎得さんは、新テッポウユリの露地栽培で県内最大規模の栽培面積を誇る専

「咲いた姿よりもつぼみにこそユリの美しさがある」と、鈴木さん。長年栽培を続けてきた鈴木さんは、つぼみの大きさ形など、一目でユリの生育状況を把握。最適の収穫期を逃さない。

目標は50万本の花き栽培

長雨や低温が続いた今年の初夏。花き栽培への影響、花の出来栄を聞いた。

「葉枯病などの病害虫防除は、新テッポウユリの栽培には最も重要。特に降雨後に葉枯病が広がりやすいため、今年は例年より防除に気をくばった。その甲斐あってか、生育は順調で、平年並みの収穫ができています」と話すように、大きな影響はなかったようだ。

新テッポウユリの栽培に、いち早くハウス型の促成栽培を導入したことも、常に時代の先を見据える鈴木



素早く生育状況を確認し収穫を判断



出荷調整。家族総出で作業にあたる



同じく匂を迎えたケイトウ。鈴木さんの自信作

さんならではの農業経営。

「花き栽培の楽しさは、なんと言っても新しい品種の栽培に成功した時の達成感。売れ筋の花や目立たないけれど市場で評価されている花などを見つけ、栽培に挑戦している」と笑顔で語る。

「夏が短いので、どうしても作業が一時集中してしまう。そのため、様々な品種や栽培方法を導入し、作業と収穫期の分散を図る必要がある。現在は、年30万本の出荷を目標にしているが、いずれは40万本、50万本と経営規模を拡大していきたい」と話すように、鈴木さんの花き栽培への意欲は益々旺盛になっているようだ。

業農家。栽培当初から県内にはなかったパイプハウスによる促成栽培という新たな作型をいち早く導入するなど、県内における新テッポウユリの先導的存在として栽培を展開している。

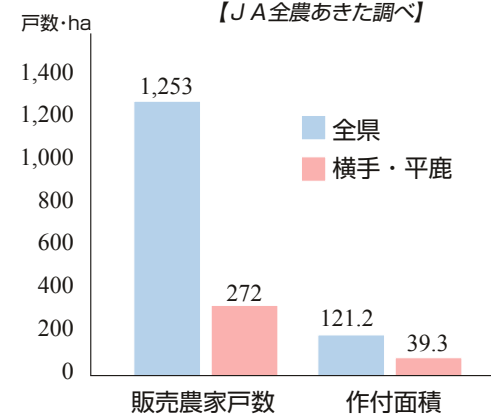
鈴木さんの新テッポウユリの露地栽培面積は90坪。このほか、ハウス栽培によるケイトウやトルコギキョウ、ストックなども手掛ける。新テッポウユリの収穫が最盛期となる8月中旬までの間は、一日に一万本もの収穫をし、等級分けや結束などの出荷に向けた調整も行っている。作業、収穫ともに今まさに「旬」となっている新テッポウユリである。



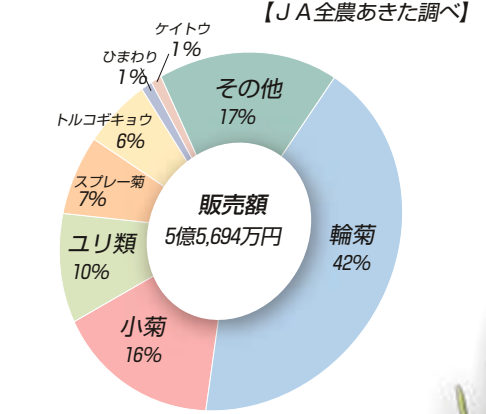
新テッポウユリの栽培面積は
県内最大規模
横手の花き生産をリードする

鈴木禎得さん(増田)

◆ 16年度 花き販売農家戸数・作付け面積 【JA全農あきた調べ】



◆ 16年産 花き品目別販売実績(横手・平鹿) 【JA全農あきた調べ】



手塩にかけた一粒には
おいしさと愛情がぎゅっしり

鎌田

義徳さん^{よしのり}
敬子さんご夫妻(横手)

枝豆



夏の定番といえば、黄金色のビールと緑色に輝く枝豆の組み合わせ。ビールの原料となるホップの主要産地である横手市は、枝豆でも県内産販売額の約3分の1を占める、いわば盛夏の旬の宝庫。様々な種類の枝豆が横手地域、平鹿地域を中心に市内全域で栽培されている。

の枝豆を栽培、新品種にも意欲的に挑戦している。

「最近では、枝豆の収穫も機械化が進み、市内でも大規模な農家では機械を導入するケースが増えているが、うちではあくまでも目の届く範囲で、手作業でやっています」

うだるような暑さの中、作業小屋で、ひと茨^{さや}ひと茨を丁寧^{きんげん}に選別する鎌田さんご夫妻。これから秋にかけて出回る秋豆は、濃厚な味と豊かな香りを楽しむことができるという。

ホップ

全国でも有数の産地

ビールの原料として、独特の苦味と香りを生み出すホップ。全国でも有数の産地である秋田県での栽培の歴史は昭和20年代までさかのぼり、県が開拓農家の換金作物として県南地区を中心に試験的に取り組んだのが始まりとされる。さらに、当時の主産品であった米に代わる作物として、本格的な栽培が始まったのは昭和30年代に入ってから。

積にまで成長した。現在、その規模はやや縮小したもの、ビールの製造に欠かせない原料として、全国のビールファンの味覚を楽しませている。中でも大雄地域および横手黒川地区の約70人のホップ農家の皆さんが加盟する大雄ホップ農協(戸田^{とんだ}農協組合長)は、大手ビールメーカーとの契約栽培により、県内一の生産量を誇っている。



雪解けとともに、雄樹さんの農業経営がスタート

この春に就農したばかりの雄樹さんは、高校卒業後、農家を継ぐことを決意し、県が実施する「フロンティア農業者研修」で野菜の栽培や経営技術などを2年間学んだ。

「父の仕事はこれまでも見てきたつもりだが、実際やってみると勝手が違う。例えば肥料の量。微妙な加減は、土の状態や生育状況を見ながらでなければできない」

父の雄吉さんからホップの栽培を任されて4か月が経過した感想を語る。対して雄吉さんは、「年間を通して経験すればすぐに覚えられるだろう。仲間でありライバルでもあるほかの組合員からいろんなことを

学んでもらいたい」と期待を寄せている。

ビールの原料となるのは、ホップの花。野菜や果物などの作物と異なり、そのまま口にするのではないが、大手メーカーとの契約栽培では、厳しい品質管理が求められる。今年のような長雨では病気対策にも気を使うという。

初めての収穫を目前にしたいいま、雄樹さんは次のように語る。

「今年は、良くも悪くも基準となる年。将来的には父を超えたい」

手探りの中で重ねられた若者の努力が間もなく実を結ぶ。

明日をめざす20歳
ホップ作りに闘志を燃やす
滝澤雄樹さん(大雄)

横手の盛夏品
最旬情報
さいしゅん

- （規程訓練）
- 1位 横手消防団
 - 2位 十文字消防団
 - 3位 平鹿消防団
- （小型ポンプ操法）
- 1位 十文字消防団
 - 2位 大森消防団
 - 3位 平鹿消防団
- （ポンプ車操法）
- 1位 十文字消防団
 - 2位 雄物川消防団
 - 3位 大森消防団

競技の結果、規律訓練は横手消防団が、小型ポンプ操法、ポンプ車操法は、ともに十文字消防団が優勝。総合成績でも優勝した十文字消防団は、支部大会6年連続の総合優勝を飾りました。

十文字消防団は、9月5日に由利本荘市岩城で開かれる第43回秋田県消防操法大会に、小型ポンプ操法の部とポンプ車操法の部の横手市代表として出場することになり、さらなる活躍が期待されます。

なお、市消防訓練大会の上位成績は次のとおりです。

【総合】

- 1位 十文字消防団
- 2位 横手消防団
- 3位 平鹿消防団



規律訓練優勝の横手消防団



小型ポンプ操法。指揮者の号令により一斉に任務分担にあたる

平鹿町消友会 消防の歴史を後世に
腕用ポンプ操法を披露

競技終了後、平鹿地域に在住する退職消防団員が中心となり現在も防災活動に活躍している平鹿町消友会（長谷川久左衛門会長・会員85人）による腕用ポンプ操法が披露されました。

これは、昔ながらの技法によるポンプ操法を披露することにより、消防の歴史を若い団員に伝え、消防団の活動に興味を持ってもらうことを目的に行われたもの。腕用ポンプ操法は、明治から大正時代に行われていた消火の方法で、操法は指揮者、筒先、鳶口、まとい、提灯、こぎ手で編成。消友会の団員が息の合った操法で見事に放水させると、会場からは盛んな拍手が贈られました。



大正元年に作成された小型ポンプ。消友会の会員は息の合った操法で放水を成功させました



一糸乱れぬ動作が要求される規律訓練



「異常なし」最後の報告をする2番員



総合優勝の十文字消防団へ優勝旗が渡された



操法の開始を伝える指揮者



閉会式前の分列行進。団員も安堵の表情

合併後初の市消防訓練大会（第59回秋田県消防協会横手支部消防訓練大会）は7月30日、浅舞スポーツセンターグラウンドを会場に行われ、各地域の予選を突破してきた消防団員が3つの競技（規律訓練、小型ポンプ操法、ポンプ車操法）で、日ごろ鍛えた消防操法技術や士気などを競い合いました。

大会には、規律訓練と小型ポンプ操法に8消防団が、ポンプ車操法に4消防団が出場。審査は、規律訓練では、制限時間内に決められた動作を確実にこなせるか、小型ポンプ操法、ポンプ車操法では団員の操作動作やスピードを採点基準として行われました。



指揮者から1番員へ放水者の交代。指先にまで神経を集中させ競技に臨む



街からあなたへ
行政情報便
06.08.15

鍛えぬいた技を競う
横手市消防訓練大会

電 算 廃棄予定パソコンの無償配布
情 報 事前要望調査を行います

旧横手市で使用していたパソコンのうち、合併後に転用できなかったものについて、市民の皆さんや市民団体への無償配布を検討しています。最新のものと比べると非常に能力が低く、ハードディスクが抜き取られており、そのままでは使用できませんので、事前に要望調査を行います。

■パソコンの詳細

メーカー	富士通
機種	FMV-6350CL2
ディスプレイ	ブラウン管型15インチ
C P U	Pentium(R)Ⅲ 350MHz
ハードディスク	無(情報保護のため抜き取り済み)
メモリー	64MB(一部のものはメモリー無)
その他	リカバリーCD等の付属品はありません

上記の状態で譲渡を希望する方は、電話、ファクスまたは電子メールで市電算情報課までご連絡ください。事前調査であり、無償配布をお約束するものではありませんのでご了承ください。なお、受領後のパソコンの廃棄は、費用(本体3,000円程度、ディスプレイ4,200円程度)の負担も含め、個人の責任で適正な処理をお願いします。

■申込期間

8月21日(月)～25日(金)午前9時～午後5時

■申込先

市総務企画部電算情報課(本庁北庁舎内)
☎35-2166 ☎33-2239
メール densan@city.yokote.lg.jp

マー ケ 百貨店のプロがアドバイス！
ティ ング 食のマーケティングまると相談所を開設

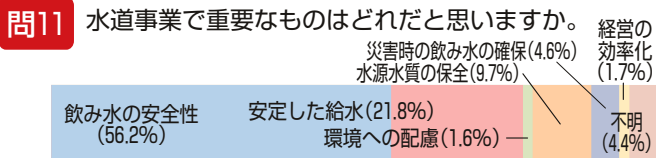
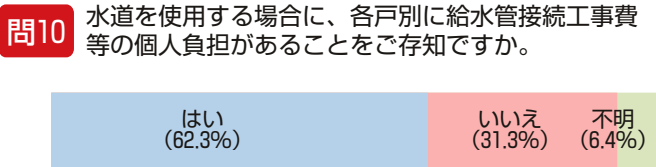
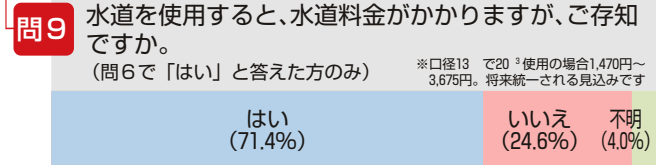
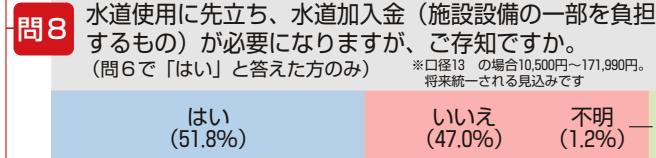
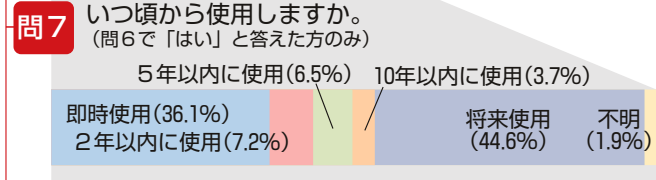
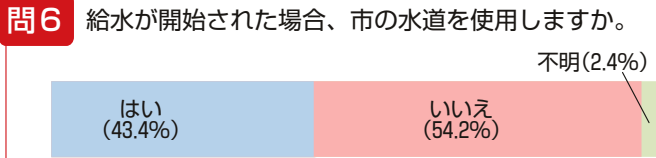
市では、農業に従事する皆さんの所得向上を目的に、地元産農産物などの「食」のブランド化に向けた施策を進めています。その一環として、市内で活躍している「作るプロ」と百貨店の第一線で活躍してきた「売ることのプロ」の出会いの場を設け、商品改良のきっかけ作りや売れるモノの育成・仕掛け作りにつなげることを目的に「食のマーケティングまると相談所」を開設します。

■対象 横手市内に拠点を持つ農業者個人、法人、直売所関係者、食品業者、加工業者、食堂、レストラン、お土産店、栄養士など、地場産品を使用した「食」に関わるすべての方

■相談員 熊谷弘夫さん(横手市マーケティングアドバイザー)および市マーケティング推進課職員

■開設期日 8月21日(月)から(午前9時～午後5時)

■申込み (日)相談内容、(月)相談希望日、(火)相談希望場所を、市産業経済部マーケティング推進課(☎45-5537 メールmarketing@city.yokote.lg.jp) または各地域局産業振興課へお知らせください



※各設問で、回答未記入の場合や判断のつかないものを不明としています。

まとめ 不安の解消に向けて事業計画を策定します

今回のアンケート調査の結果、水道が未普及となっている地域のほとんどが地下水に依存していて、回答者の感じる不安・不便は水質と水量に集中しています。

水道事業においては、近年の少子化や生活環境の変化の中で、給水量の減少が予想されることと、施設の老朽化に伴う計画的な更新や配水管の整備などの経費の増加が見込まれ、年々経営状況は厳しくなると考えられます。

安全な水を安定して供給するため、市では今回の調査結果を参考に、今後の水道事業の進むべき方向と目標及びその実現方策を総合的に明らかにする水道事業計画を策定します。今後は、策定された計画を基に市民の皆様から意見を伺い、経営状況を勘案しながら未普及地域の解消に向けて検討していきます。

■アンケートの結果や水道事業に関する問い合わせ先
市上下水道部水道総務課 ☎35-2175

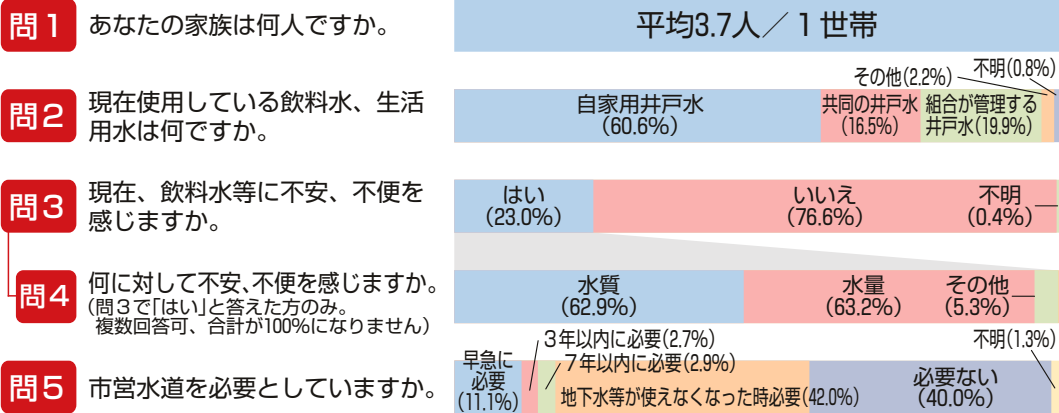


市では、将来にわたって安全な水を安定して供給できるよう、また、水道事業の今後の健全な運営や水道未普及の解消を目指して水道事業計画を作成することとしています。

そこで、水道が未普及となっている地区のご家庭の皆さんにご協力いただき、この6月に「水道に関するアンケート調査」を実施しましたので、その結果をお知らせします。

地域別アンケート回収率	地域別水道普及率
回収枚数(回答数)／対象世帯数(回収率)	給水人口／総人口(普及率)
43枚／98世帯(43.9%)	横手地域 38,672人／39,458人(98.0%)
244枚／584世帯(41.8%)	増田地域 6,269人／8,775人(71.4%)
706枚／1619世帯(43.6%)	平鹿地域 6,167人／14,592人(42.3%)
262枚／739世帯(35.5%)	雄物川地域 7,504人／11,186人(67.1%)
12枚／16世帯(75.0%)	大森地域 6,962人／7,649人(91.0%)
214枚／559世帯(38.3%)	十文字地域 9,691人／14,414人(67.2%)
※水道の整備がほぼ完了している山内、大雄地域ではアンケートを実施していません。	山内地域 4,345人／4,372人(99.4%)
	大雄地域 5,336人／5,759人(92.7%)
1,481枚／3,615世帯(41.0%)	合計 84,946人／106,205人(80.0%)

※普及率は平成17年度末現在



水道未普及の世帯を対象に実施
水道事業に関する
アンケート調査
結果報告

がんばれ スギッチ

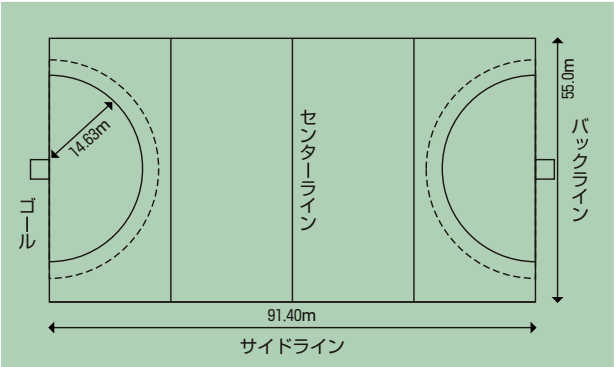


～国体だより～
No.5

横手市開催競技の紹介 その1

ホッケー

ホッケーはサッカーに似た競技で、1チーム11名の出場選手と7名以内の交代選手の合計18名以内で構成されます。また試合中にいつでも選手を自由に交代させることができます。



ゴール
センターライン
サイドライン
バックライン
14.63m
91.40m

■国体に関する問合せは
総務企画部国体推進事務局
(横手就業改善センター内)
☎35-2171

Q コートの広さは？

A サッカーより一回り小さい縦91.4m×横55mです。

Q 試合時間は？

A 前半35分・後半35分の間に5～10分間の休憩があります。

Q どうすれば得点が入るの？

A ゴールの前にある半円形状のシューティングサークルの中からシュートしたボール、または、タッチしたボールがゴールに入れば1点が与えられます（攻撃側の選手がサークル内で一度でもボールにさわればよい）。

Q 勝敗はどうやってきめるの？

A 決められた時間内に多くの得点をあげたチームが勝者となります。もし同点の場合はペナルティー・ストローク戦を行い勝敗を決めます。ただし、準決勝からは、5分間の休憩後、延長戦を行い、いずれかのチームが得点した時点で時間に関係なく終了します。

こんにちは

横手市長 五十嵐 忠悦

市長です

残暑厳しい折、いかがお過ごしでしょうか。この時期は、お盆で帰省されている方も多く、楽しい時間をお過ごしのことと思います。

さて、帰省客の皆さんから見て、市町村合併で新しく誕生した故郷の印象はいかがでしょう。現実には、市民の皆さんでも行政区画を意識する機会はまれであり、目に見える変化は少ないかもしれません。ただ、旧市町村間の垣根が取り払われたことで住民の交流は確実に増していると感じています。

もっとも、合併後にサービスが低下したという意見もあり、最近では「税金が上がった」などというお言葉をいただくこともあります。合併が原因とはいえないものもありますが、私たちはそのような意見を真摯に受け止めなければなりません。それが国の施策であったとしても、説明する必要があるにはあると考えているからです。



横手市消防訓練大会で腕用ポンプ操法を体験

極端に言えば、国が身近な存在とはいえない状況では、一番身近な市役所が説明責任を果たさなければなりません。担当者には理解できない専門的な情報を一方的に流して説明したつもりになる。これは、行政が犯しがちな間違いの一つと言えます。すべての職員が、自分たちの仕事を市民の皆さんの立場に立って伝える情熱と能力を持っているか。また、問題意識を持って仕事をし、結果の検証、必要があれば手直しをした上で、再び仕事に取り組むことができていますか。職員一人ひとりの質を高めつつ、組織全体として、このことを十分に認識しながら仕事に取り組む必要性を強く感じています。

除雪

町内会等除雪活動費補助金
市民の皆さんの除雪活動を支援します



市では、除雪活動団体（市道や公衆用道路等の除排雪を、みずからが主体的に行うことを目的として組織される団体）に対し、消雪パイプ等の施設の設置費用、または除雪機械等の購入経費の一部を補助します。

■補助対象経費と補助額

補 助 対 象 経 費	補 助 額
1. 消雪パイプ施設設置	(ロ)施設用ボーリングにかかる経費 当該経費の2分の1以内（75万円限度） (ハ)揚水機設置に要する経費 当該経費の2分の1以内（25万円限度） (ニ)消雪パイプ施設の布設に要する経費 30万円以上100万円まで 当該経費の2分の1以内（30万円限度） （100万円を超える場合は、次の100万円までを上記の率とする）
2. 融雪溝施設設置	(ロ)施設用ボーリングにかかる経費 当該経費の2分の1以内（75万円限度） (ハ)揚水機設置に要する経費 当該経費の2分の1以内（25万円限度）
3. 除雪機械の取得	(ロ)小型除雪機の取得に要する経費 当該経費の2分の1以内（30万円限度）
4. 融雪機器の設置	(ロ)融雪機器の設置に要する経費 当該経費の2分の1以内（30万円限度）

■補助要件等

- ・補助申請を行うには、除排雪を行おうとする道路の延長距離や利用戸数に一定の条件があります
- ・既に流雪溝や消融雪施設が整備されている地区は補助対象になりません
- ・予算の範囲内で、緊急性や必要性を調査して補助金交付の可否を決定します

■申込期間 9月1日（金）～15日（金）

※施設、機械等の管理運営のための経費（電気料、燃料費、修理費）についても、その一部を補助します。補助を受けるためには、10月末日までに除雪活動団体の届け出をしていただく必要があります。

■申込み・問合せ お申し込みや詳細についてのお問い合わせは、各地域局地域維持課までお願いします

管財

運用基準を定めました
市所有バスが使用可能な事業について

横手市が所有する「市バス」が利用可能な事業は、横手市バス運行管理規程で「市の主催事業および市が関係機関や団体と共催して行う事業」と定められています。

市では、市バスを利用できる行事等について、多くの市民の皆さんからご意見をいただいていることから、利用可能な共催事業についての運用基準を次のとおり定めましたのでお知らせします。市バスの利用を検討される場合は、市との共同開催についてご協議のうえ、有効に活用されるようお願いします。

■次のいずれかの場合に、市バスが利用できます

- (ロ)主催する団体、機関と市との共催が決定している場合
- (ハ)国や県が主催する行事に横手市として参加する場合
- (ニ)全市、全県的な行事に横手市として参加する場合
- (ホ)国体関連の事業のうち、国体推進事務局が指定した場合
- (ヘ)市が委託する事業など

※いずれの場合も担当課長などの認定が必要です。

■利用できない場合があります

上記の基準を満たしていても、日程の都合や乗車責任者あるいは運転手の手配など、運行管理上の理由で利用できない場合もあります。

■問合せ
市財務部管財課（本庁北庁舎内）☎35-2168

13 | Yokote City Public Relations 2006.8.15

Yokote City Public Relations 2006.8.15 | 12

夏の夜の楽しいひととき

■エリア夏祭り2006(大森)

8月5日、特別養護老人ホーム白寿園の玄関前を会場にエリア夏祭り2006が行われ、大勢の人出でにぎわいました。会場には、地域の方々による焼きそばや焼き鳥、かき氷などの屋台が立ち並び、買い求める家族連れなどで屋台の前は大にぎわい。ステージに近づくのが一苦労といった様子でした。また、ステージでは大森中学校吹奏楽部による演奏、エリア利用者と職員による踊り、大森地域在住の芸達人たちによる歌などが次々に披露され、来場者からは盛大な拍手が送られていました。



オープニングを飾ってくれた大森中学校吹奏楽部の皆さん

自然に触れる夏を

■自然体験活動「川で遊ぼう」(十文字)

7月23日、志摩河川敷周辺でカヌーの体験活動が行われました。これは生涯学習活動の一環として行われ、カヌーを通して自然に親しむことを目的に計画されたものです。前日まで降り続いた雨のために、この日の川は普段より増水気味でしたが、19人の子どもたちが元気に参加。カヌー教会(泉谷雅弘代表)の方から、バランスの取り方や乗り降りの仕方など基本的なことを学ぶと、子どもたちはさっそく見事なオールさばきで川くだりに挑戦。夏の自然を味わいながら、水とのふれあいを存分に楽しんでいました。



ゆっくりとカヌーを漕ぎ出し、いざ出発!

酒づくりの技に磨きを

■山内杜氏組合酒造講習会(山内)

8月1日から4日にかけて、(財)日本醸造協会主催による「山内杜氏組合酒造講習会」が鶴ヶ池荘にて開催されました。この講習は、酒づくりの技術向上を目指して実施されているもので、講師を招いての特別講義やきき酒の実習、杜氏試験などが行われます。今回受講したのは、県内外の杜氏や蔵人たち約200人。2日目のきき酒実習に参加した受講者たちは、酸度やアルコール度数の異なる酒をきき分けようと、感覚を研ぎ澄ませて挑んでいました。



きき酒に挑戦する杜氏たち

熱い夏祭りでにぎわう

■2006大雄サマーフェスティバル(大雄)

大雄の夏祭りとして定着している「大雄サマーフェスティバル」が7月29日、大雄運動公園で開催されました。20周年目となる今年は、大雄太鼓やステージショー、熱気球の体験搭乗など数々の催しが行われ、約5,000人の観客が来場。夜には、大雄の親子会や学校、各地域局などで作成したちょうちんや絵灯ろうの灯りが会場を飾り、お祭り気分を一段と盛り上げていました。また、1,000発ものスターマインが夜空を照らし出すと、観客は美しい光の演出に酔いしれ、祭りを心ゆくまで楽しんでいました。



手づくりの絵灯ろうが会場内を明るく照らしだしました



外国産の大型カブトムシなど初めて見る昆虫の標本がたくさん

伝説に想いをめぐらせて

■二本杉に増田盆おどりを奉納(増田町)

増田城築城の悲話にまつわり、640年の歴史を持つとされる「増田盆おどり」。8月5日、増田盆おどり保存会(内藤良克会長・会員147人)が誕生の舞台となった二本杉と貞治碑前(増田小学校校庭)で奉納盆おどりを行いました。築城にまつわる悲話とは、南部氏の一族だった小笠原義冬が増田城築城の際、城が堅固であることを祈って自分の娘と一匹の牛を生き埋めにし、その霊を慰めるために二本の杉を植えたというもの。保存会の会員は、生贄となった姫と牛への供養の想いを込め、踊りを奉納しました。

世界の昆虫に興味津々

■昆虫展2006(横手)

7月29日と30日の2日間、かまくら館を会場に今年で5回目となる昆虫展が開催されました。会場には、希少な種類を含む世界中の昆虫の標本や水辺の生物が展示されたほか、横手自然研究会の協力による植物や鳥類などの標本展示も行われました。また、「イガラシカブト」に扮した市長がカブトムシをプレゼントする抽選会は、家族連れが会場を埋め尽くすほどの人気ぶり。持ち寄った昆虫同士を闘わせる昆虫相撲も注目を集めるなど、夏休みの子どもたちでにぎわいました。



幻想的な雰囲気の中、増田盆おどりを奉納

「あやめ座公演」大盛況

■浅舞新町夏祭り(平鹿)

8月5日、平鹿地域浅舞新町で夏祭りが行われ、地元住民らで組織する劇団「あやめ座」による芝居や出店、マジックショーなどでにぎわいました。夏祭りは、新町町内の納涼会として20年ほど前から始まったもので「他の町内のお祭りには見られないおもしろい企画を」と、芝居を披露して13回目。脚本から演出、舞台装置に至るまですべて自分たちの手で行っているものです。この日に向けて6月から練習を重ねてきた団員は、素人とは思えない迫真の演技で訪れた観客を魅了していました。



笑いあり、涙ありの内容で会場を沸かせたあやめ座の皆さん

元気な掛け声で練り歩く

■沼館・今宿鹿嶋祭り(雄物川)

8月5日、家内安全、五穀豊稔、商売繁盛、疫病退散などを祈願する沼館・今宿鹿嶋祭りが行われました。子どもたちは、町内会ごとに2週間ほど前から色鮮やかな飾り灯ろう、あげ灯ろう、屋形船、人形船を製作。家々では、悪疫、災難を託す小さなワラ人形を作り、神前に飾って家内安全などを祈願します。夕方になると子どもたちが各家を訪れ、ワラ人形を集めてまわり、あげ灯ろうを手し、飾り灯ろう、屋形船、人形船の行列を作り、「かしま、かしま」と元気な掛け声で町内を練り歩きました。



「かしま、かしま」の掛け声で町内を練り歩きました

お知らせ

原料原産地が表示される加工食品の枠が広がります

平成18年10月から生鮮食品に近い加工食品にも主な原材料の産地表示が義務付けられます。今回の対象となるのは、乾燥野菜や調味した食肉、干した海藻類などの20食品群です。これまで産地表示が義務付けられていた農産物の漬物などの食品も継続して表示されます。食品購入の際に、ご参照ください。

【問合せ】東北農政局秋田農政事務所地域第三課 ☎0183-7310103

福祉のしごとセミナー・福祉の就職ミニフェア2006

福祉の職場に就職を希望している方や、福祉の仕事に関心のある方が対象です。

セミナーでは、県内の福祉職場の現状や職種、資格取得方法などについて情報提供をし、個別相談にも応えます。また、セミナー終了後のミニフェアでは、参加者が求人事業所と直接面談し、情報交換を行います。

【日時】9月2日(土) セミナーⅡ 午前9時30分受付・ミニフェアⅡ 午後2時30分

【場所】かまくら館5階

【問合せ】秋田県社会福祉協議会 秋田県福祉保健人材・研修センター(人材部門) ☎018-864-2880

横手市合併記念・各地域巡回公演「鳥海劇場」

市内7劇団による演劇の巡回公演を各地区で行います。

増田公演

【日時】9月2日(土) 午後6時30分開演

【場所】増田ふれあいプラザ

【内容】「宿屋の仇討ち」・劇団Hozzy&Nancy 「蜘蛛の糸」・劇団三人の会 山内公演

秋田県合同就職面接会のお知らせ

大学、短大、高専、専修学校を来年3月に卒業される方を対象に、県内企業の採用担当者との面接会を開催します。

県内各ハローワークに提出された求人一覧の公開や、就職相談なども行います。事前の申込みは必要ありません。県内就職を希望する学生の方は、ぜひご参加ください。

【日時】9月5日(火) 正午受付

【場所】秋田ビューホテル

【問合せ】県産業経済労働部雇用労働政策課 若年者支援班 ☎018-860-2334

旅館・ホテル業、飲食業の方、秋田米の応援団を募集します

おいしいご飯の提供を通じて秋田米を応援する「美味しい秋田米提供店『秋田米サポートショップバーズ』認証制度」が開始となります。

これは、おいしい秋田米を使用したご飯を提供している旅館・ホテル、レストランなどを秋田米の応援団として県が認証し、ショップガイドやホームページへ掲載して皆さんへ広く紹介する制度です。詳しくはお問い合わせください。

【日時】9月23日(土)

【場所】山内体育館

【内容】「めくらぶんど」・劇団かんじき

「宿屋の仇討ち」・劇団Hozzy&Nancy

【問合せ】横手市民会館 ☎3213136

講習講座

プリザーブドフラワー講座

生花に特殊な加工を施した、枯れない花をアレンジメントする講座です。

【期間】9月7日(木)・10月12日(木)・12月14日(木)

【時間】午後7時～8時30分

【場所】横手市女性センター(本町・横手法務合同庁舎向い)

【定員】20人(託児あり)

【材料費】3,000円(予定)

【申込み】8月18日(金) 午前9時から

【申込先】横手市女性センター ☎33-3995

南部シルバーエリア「活き活き学園」料理教室

市販のカレールーを使わない、本格的なスープカレーを作ってみませんか

【問合せ】県平鹿地域振興局農林部農林企画課 ☎32-9501

横手市総合防災訓練のお知らせ

8月29日(火)、十文字地域局周辺を会場に、横手市総合防災訓練を実施します。

- ・倒壊家具からの救出訓練
- ・応急手当訓練
- ・バケツリレー消化訓練
- ・消火器による初期消火訓練
- ・衛星電話通信訓練

など、市民の皆さんが体験できる訓練があります。

【時間】午前9時～11時15分

【申込・問合せ】市福祉環境部市民課交通防災担当 ☎35-2176

催し

県南地区家庭教育推進フォーラム

コーディネーターにタレントの石垣政和さんを迎え、家庭教育に関わりのある川柳をもとに意見を交わします。

子育てや家庭教育について、このフォーラムからヒントをつかんでみませんか。

【日時】9月10日(日) 午前10時

【日時】8月30日(水) 午前10時

【場所】調理室(定員20人)

【講師】吉田美千代さん

【参加費】1,000円

【申込期限】8月23日(水)

【問合せ】南部シルバーエリア ☎26-3880

手話奉仕員養成講座

入門講座を受講された方、または同等の手話のできる方が対象の講座です。

【期間】初回Ⅱ8月31日(木)以降毎週火・木曜日(全23回)

【時間】午後7時～9時

【場所】かまくら館

【受講料】1,400円(テキスト代)

【申込み】横手地域局福祉保健課 ☎32-2710

横手市医師会「第51回 市民医学講座」

横手市医師会の先生方による講演会を行います。

また、病气や健康に関する質問や相談にお応えする医療相談コーナーも開設します。

【日時】9月2日(土) 午後2時～4時

【場所】かまくら館ホール

【講演内容】「めまいと難聴について知ってほしいこと」

【問合せ】浅舞公民館 事務所社会教育班 ☎32-1101

南部シルバーエリア「アイトフラワー教室生徒作品展」

手作りの作品を展示します。

【期間】7月29日(土)～8月31日(木)

【場所】ミニミニギャラリー

【問合せ】南部シルバーエリア ☎26-3880

「秋田県美術展覧会・横手展」を開催します

第48回秋田県美術展覧会へ入賞、入選された市民の方の作品を展示します。

【期間】8月25日(金)～27日(日)

【時間】午前10時～午後4時

【場所】雄物川生涯学習センター

【入場料】無料

【主催】横手市芸術文化協会

【問合せ】市教育委員会生涯学習課 ☎22-2155

県南地区青少年の居場所づくり推進フォーラム

「夜回り先生」として有名な水谷修さんを講師に迎えての講演があります。先生は、高校の授業終了後、繁華街にいる子どもたちに声をかけ、悩みや問題を解決してきた活動で知られています。

【日時】9月21日(木) 午後1時～4時30分

【場所】大仙市大曲市民会館

【問合せ】秋田県教育庁南教育事務所仙北出張所社会教育班 ☎0187-63-3477

「チャレンジ！雄物川カヌーツリーング」参加者募集

カヌーに乗り、雄物川の自然を味わいながら、親子や参加者同士の親睦を深めてみませんか。

【日時】9月9日(土) 午後1時～10日(日) 午後1時30分まで

【場所】保呂羽山少年自然の家

【対象】小学生(3年生以上)とその保護者(定員25人)

【参加費】子ども・大人ともに2,500円(宿泊費など)

【申込期限】8月31日(木)

【申込み】☒郵便番号☒住所☒氏名(ふりがな)☒性別☒年齢(学年)☒電話番号を明記の上、FAXまたは郵送で申込みください

【申込先】〒013-0208 横手市雄物川町沼館字千刈田2 沼館保育園「ほろっとキッズ」高橋大成さん

【問合せ】☎22-4511 ☎22-4517

9時30分(4日間)

【場所】しすてむ工房(外ノ目)

【参加費】無料

【申込期限】初回「ワード基礎」は8月21日(月)まで、その他の研修は受講日1週間前まで

【申込先】横手市雇用創出協議会事務局(市産業経済部商工労働課内) ☎45-3990

ITスペシャリスト育成講習

一般求職者や事業所従業員、ITの起業を考えている方を対象とした講習です。

WEBデザイナー育成コース

【期間】8月28日(月)～11月25日(土)

【場所】平鹿地域局3階会議室

【対象】マイクロソフトオフィスが操作でき、インターネットを使用できる方(定員10人)

【申込期限】8月21日(月)

【申込先】横手市雇用創出協議会事務局(市産業経済部商工労働課内) ☎45-3990

【場所】平鹿地域局3階会議室

【対象】ビジュアルベシック相当のプログラム言語を習得されている方(定員10人)

【申込期限】8月21日(月)

【申込先】横手市雇用創出協議会事務局(市産業経済部商工労働課内) ☎45-3990

いどばた プラザ

市民主催の催し等をお知らせするコーナーです

心の生涯学習セミナー

心豊かな人生を送るための心づかいや行いについて考えるセミナーです。
日 時 ● 9月5日(火)・6日(水)午後6時50分開演
場 所 ● かまくら館(参加費2,000円)
問合せ ● (財)モラロジー研究所 横手モラロジー事務所
和賀さん ☎090-8789-8905, 小野さん ☎090-7062-7351

歌の好きな人集まれ！思いっきり歌声喫茶

「りんごの歌」や「湖畔の宿」など数曲を予定。
日 時 ● 9月7日(木)午後7時開演
場 所 ● レストラン煉瓦屋(寿町)
参加費 ● 1,000円(軽食付き)
問合せ ● レストラン煉瓦屋 ☎33-2811

鍛冶町通り歩行者天国のお知らせ

鍛冶町通りを歩行者天国にし、「金比羅はらがけ祭り」や様々なステージなどを行います。
日 時 ● 9月9日(土)午後6時45分～9時45分
問合せ ● 鍛冶町商店会・祭り実行委員会事務局
若林さん ☎33-1010

雄物川オープンゴルフコンペ

初心者の方も歓迎します。
日 時 ● 9月10日(日)午前8時35分
場 所 ● 羽後カントリークラブ(参加費3,000円)
申込期日 ● 8月31日(木)まで
申込先 ● 雄物川オープンゴルフコンペ実行委員会
(北都銀行沼館支店内 ☎22-2121)

新横手市探訪ウォーキング

ウォーキングを楽しみながら、地域局巡りをします。
日 時 ● 9月16日(土)午前9時集合
集合場所 ● 十文字地域局前
コース ● 十文字地域局～増田地域局
申込期日 ● 9月11日(月)まで ※当日受付も可
申込先 ● 鎌田さん ☎・FAX: 32-0316

自然を愛する皆さんの集い

名曲特集や「お米」をテーマにした講演を予定。
日 時 ● 9月17日(日)午後1時開演
場 所 ● レストラン煉瓦屋(寿町)
参加費 ● 800円(軽食付き)
問合せ ● レストラン煉瓦屋 ☎33-2811

横手ばら会 栽培技術講習会

ばらの夏の手入れ方法を学びます。
日 時 ● 8月18日(金)午前9時30分
場 所 ● 横手南中学校ばら花壇
持ち物 ● せん定ばさみ、軍手
問合せ ● 藤本さん ☎32-6177

つかえる英語講座

アメリカ人講師の講座です。受講生によるフリートークもあります。
日 時 ● 8月29日(火)・9月12日(火)・26日(火)午後7時～9時
場 所 ● かまくら館(受講料: 1回1,000円)
問合せ ● 若林さん ☎32-0077

介護サポート かがやきネットまつり！

福祉用具の展示や健康相談、バザーや駄菓子コーナーなど盛りだくさんな内容でお待ちしています。
日 時 ● 9月2日(土)午前10時～午後4時
場 所 ● 平鹿生涯学習センター(浅舞公民館)
問合せ ● NPO法人県南介護サポート かがやきネット ☎32-2388

ものづくり体験講座「親子で作ろうFMラジオキット」

日 時 ● 9月2日(土) ①午前10時②午後1時③午後3時30分
場 所 ● 秋田ふるさと村(参加費: 1組1,000円)
応募方法 ● (日住所)電話番号(火氏名)希望時間を記入の上、ハガキで申込みください
応募先 ● 大仙市大曲通町2-26有明ビル2F 日研総業 ☎大曲営業所ものづくり体験講座係 ☎0187-66-3755

第23回 横手オープンテニストーナメントシングルス

日 時 ● 9月3日(日)午前8時30分まで受付
場 所 ● 大鳥公園テニスコート
申込み ● 8月25日(金)まで、詳しくはホームページで。
要項は大鳥公園管理事務所にもあります
問合せ ● 横手ローンテニスクラブ
(<http://www.geocities.jp/yokotelawn/>)

募集



県営住宅入居者募集

■募集住宅 県営朝日が丘住宅
■募集戸数 1戸
■募集期間 8月11日(金)
(9月8日(金))
■問合せ 県平鹿地域振興局建設部建築課 ☎32-6206

相談



職場でのトラブルをご相談ください

秋田労働局では、職場でのいじめ、不当解雇などの身近な個別労働問題について、無料で解決のお手伝いをします。お悩み

■相談期間 9月30日(土)まで
■相談時間 正午から午後9時まで(日曜日は午後6時まで)
■フリーダイヤル 0120-915-508
■問合せ 県健康推進課増進班 ☎018-860-1423

第13回増田地域センターミニ企画展 加賀谷脩吾作品展 「追想」



横手市で活躍されている洋画家、加賀谷脩吾さんの作品展を開催します。県展などで入賞した水彩画や油絵を展示します。ぜひご来場ください。

■期間 8月26日(土)～30日(水)
※28日(月)は休館日
■時間 午前9時～午後6時
■場所 増田ふれあいプラザ 企画展示室
■入場料 無料
■問合せ 増田ふれあいプラザ ☎45-5556

たいゆう緑花園 の花を使って 「押し花に心をそえて…」 コンテスト

昨年度まで実施していた「たいゆう緑花園フォトコンテスト」を終了し、今年度はたいゆう緑花園の花々を利用し、押し花に心に残る一言を書きそえていただく「押し花に心をそえて…」コンテストを開催します。
たくさんのご応募をお待ちしています。

作品例



■応募するまでの準備
(日)事務局または地域局に用意している参加申込書に記入をし、事務局へご提出ください(電話またはFAXも可)
(月)事務局から押し花セットが郵送されます
■応募方法
(日)「たいゆう緑花園」の花を採取し、押し花セットの「押し花の作り方」にそって作成します
(月)押し花のそばに「心に残る一言」を記入し、作成したポストカードを応募先までお届けください
■応募締切 平成18年11月15日(水) 必着
■入賞
特選 1点 賞状・賞金30,000円
準特選 1点 賞状・賞金20,000円
入選 3点 賞状・賞金10,000円
■作品の返却
入賞作品については1年間「ゆとりおん大雄」に展示した後、返送いたします
■応募先・問合せ先
〒013-0461 横手市大雄村字三村東18
大雄地域局産業振興課内
「押し花に心をそえて…」係 ☎52-3913 ☎52-3909



市立横手病院 職員募集のお知らせ

■職 種 看護師
■採用人数 3人程度(予定)
■応募要件 次の要件を満たす方
・昭和54年4月2日以降生まれの方
・通勤に支障のない範囲に居住できる方
・看護師の免許を有する方、または平成19年3月までに実施される同国家試験により免許取得見込みの方
■採用年月日 平成19年4月1日(予定)
■試験日 9月2日(土)・3日(日)
■試験場所 市立横手病院4階会議室
■受付期間 8月25日(金)まで
■問合せ
〒013-8602 横手市根岸町5-31
市立横手病院総務課
☎32-5001



市報よこて
読者プレゼント
Present!

お便りをくださった方の中から抽選で
横手市の特産品等をプレゼントします。
※当選の発表は商品の発送をもって代えさせて
いただきます
【締め切りは平成18年9月5日(当日消印有効)】

●銘菓 くるみ餅 (十文字)



まるごと使用した大粒の
くるみが香ばしく、ほん
のりと甘い昔懐かしい味。
くるみ餅、ごまくるみ餅
詰め合わせ (10個入り1
箱) を5名様に。

【提供】有限会社路月堂
☎42-0206

●高速タイプ USBフラッシュメモリ

OA機器・事務機器・各
種ソフトウェア開発のT
OMから、大容量パソコ
ンデータの取り扱いに最
適な高速タイプUSBフ
ラッシュメモリ512MB
を3名様に。



【提供】有限会社トータル・
オフィス・マネジメント(十文字)
☎42-4030

POST CARD

013-8601

お手数ですが
50円切手を
お貼りください

横手市前郷字下三枚橋163

横手市役所
秘書広報課 行

フリガナ

◎ご氏名

◎年齢／ 歳 ◎性別／ 男 ・ 女

◎ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所

電話 () -

◎ご希望のプレゼントを○で囲んでください

1. 銘菓くるみもち 2. フラッシュメモリ

PRESENTS PRESENTS PRESENTS PRESENTS PRESENTS PRESENTS

市報で回答するしないに関わらず、すべて市長が目を通して
いるほか、関係部署に連絡して対
応策を検討しています。

読者の声への回答を
十文字「十文字腹黒母さん」60歳

7月15日号の読者の声「環境・安全共に配慮を」の回答があり
ませんでした。私も一回投書し
ましたが、横手の市報の勝手で
良い所だけ書かれて後はつぶさ
れてしまいました。十文字町で
も公園等、横手市内でも浅舞、
増田他、全部電灯の節電できる
所がいっぱいあります。横手駅

前や市内だけ良くなって横手の
片田舎は前より悪くなりました。

読者の声が楽しみです
横手「M・K」さん 45歳

お便りを載せていただきあり
がとうございます。多少、修正
が加えられているとはいえ、自
分が書いた物を読むというのは、
何だか気恥かしく、不思議な思
いがありました。それぞれ横手
を思う気持ちからいろんな意見
があるようで、毎回楽しみです。

◆紙面の都合上、すべてのお便
りを掲載することはできないた

め、一部分を抜粋するなどして
多くの方の声を掲載するよう心
がけています。また、内容につ
いても、細かな言い回しなどは、
意味が変わらない程度に修正し、
広報紙にふさわしくないと判断
した表現などは削除させていた
だく場合があります。

市職員の意識と苦情対応
匿名さん

先日、市の窓口が込んでいる
にもかかわらず、勤務中の職員
が飲食しているのを目撃した。
合併して職員の意識改革の乱れ
かサービス低下につながってい

る。市では、苦情・意見を個人
処理し、解決したと認識してい
るが、公にしないのはなぜだろ
うか。ぜひ広報等で回答してい
ただきたい。銀行、JA等サー
ビスが向上している中で、市は
反対に低下しているのか。

◆ご指摘のハガキ以外にも、電
話の応対などに苦情が寄せられ
ています。日頃から、来庁者へ
の声かけや迅速な事務処理、丁
寧な電話応対の励行など注意
すると共に、接遇マナーをまと
めた冊子を作成するなどして、
職員の資質向上に努めており、
今後さらなる徹底を図ります。

市民の皆さんのご意見について
は、市報以外にも、さまざま
形で受け付けており、関係部署
で内容を検討したうえで、必要
と判断した場合には、公開する
こととしています。

【お断り】このお便りには、投
稿された方の氏名が記入されて
いましたが、☑同じ方が書いた
と思われる別名での投稿があり、
実在しない氏名である可能性が
高いこと☒ペンネーム欄には記
入がなかったこと☒万が一、記
入されている氏名と同名同名の
方がいた場合に迷惑がかかる恐
れがあること、などの理由から、
匿名とさせていただきます。

横手の魅力の一つ発見
横手「C・I」さん 33歳

4月に転入してきましたが、
市内をぶらぶらしているとお菓
子屋さんをたくさん見かけます。
季節ごとにおいしそうな張り紙
が見られて、散歩が楽しいです。

友との再会に感激
愛知県 富部ユキ子さん

還暦祝いの通知が届いてから、
当日までの長かった事。45年ぶ
りに会う友の顔を思い浮かべな
がら電車に乗りました。受付を
すませたらもう皆15才に戻り、

話はいつまでも続き、夜の短か
かったこと。気持ちはまだまだ
若々しくパワーも全快でした。
おもしろ(れ)かったー。

enjoyサマーレッスン」です
十文字「まゆべえ」さん 40歳

お母さんから着付けを教えて
もらって浴衣を来て、夏祭りや
花火大会に出かけています。浴
衣にあった化粧、髪型にすると
気持ちピンとし、心の免疫力
が上がります。場が華やかにな
るのか、出かけた先で親切にし
てもらったり、ラッキーな事が
多いのです。

次代に継ぐ我が至宝「よこ
て遺産」を毎月興味深く拝見し
ております。先月、横手駅で何
時間かの時間がとれましたが、
時間内にタクシーに乗って見れ
るものと思ってもすぐには思い
出せず。住所、交通手段、内容
等を織り込んだ、旅人にも紹介
できる小冊子を駅等でまとめて
おいてもらいたいものです。

大人の安全マップ
横手「A・T」さん 38歳

あそここの信号は見にくい、急
にトイレへ行きたくなったけれ
ども…、公衆電話はどこにある
のなど、大人の安全・安心マッ

フがあればいいなと思います。

カタカナ文字は苦手
増田「N・T」さん 77歳

市報よこても新聞も、またテ
レビまでカタカナ文字が氾濫し
ています。英語を全然知らない
私達の年代は、このカタカナ文
字を理解するのに四苦八苦、二
度三度聞いてもその時は大体わ
かりませんが、翌日はまた忘れて
しまいます。カタカナ文字でな
ければ表現出来ない用語がある
と思いますが、できるだけ日常
語にしたいと思います。

◆言い換えが可能な用語でも、
カタカナでなければ雰囲気伝
わらないなどといった理由をつ
けて使用してしまうことがしば
しばあります。N・Tさんがお
っしゃることを改めて確認し、
すべての方に読みやすい広報紙
作りを心がけたいと思います。

花壇の管理に感じるいこと
横手「紫旺」さん 60歳

富士見大橋を降りて、旧市役
所に向かう両側の花壇は、昨年
まではきれいな花が植えられ、
私達市民の目を楽しませてくれ
たのですが、今年は待てど暮
らせど草ぼうぼう。荒れた花壇
への細やかな心配りをおろそか

にする市政を垣間見るのは私だ
けではないようですが…。

看板は必要なの？
横手「A・S」さん 62歳

横手南小学校の所にあるバラ
園、横手城の看板にはビニール
がかけられ、歩道に結びつけら
れてあります。毎年、春頃に設
置されますが、みすぼらしくて
仕方ありません。毎年使うもの
ならもっと大きく、プラスチック
で作っておくとかできません
か。お金がないと言ってしまえ
ばそれまでですけど。果たして
必要なのかと思ってしまうす。

案内板を新しく
横手「方言大好き」さん 70歳

JR横手駅前、噴水広場にあ
る、横手市総合案内板(地図)
は設置された時のままです。目
的、エリアなど検討し、新しく
してはどうでしょうか。

◆今回は、市などが管理する設
備に関するお便りを何通かい
いただきました。ご承知のとおり、
予算の都合もありますが、ご指
摘いただいた内容を早急に確認
し、特に市民の皆さんにご不便
をおかけするものについては優
先的に対処してまいります。「読
者の声」でいただいたご意見は



このページは読者の皆
さんから寄せられた声
にふれあう場です。
いろいろな声をお寄せ
ください。



TAKUMI
たくみ

【其の十】



1988年、竹下登首相(当時)がレ
ーガン元米大統領に贈った枕屏
風(びょうぶ)も巧の作品。材料
には秋田杉の埋もれ木を使用し、
類例のない高度な細工を施した。

組子細工職人

大橋 利一さん (78歳・雄物川)

洗練された意匠と細工の美

厚さ1.5ミ、長さ1ミほどの秋田杉の組子(くみこ)。色合いや木目を考えながら、一つひとつ丁寧に組んでいく。繊細で華麗、巧の手から繰り出されるその技は「木を織る」とう表現がふさわしい。

22歳の時、模様が入ったふすまの注文を受けた。組子細工は見たこともなかったが、それまで培った知識と技術のすべてを投入し、職人の意地で仕上げた。その作品が評判を呼び組子細工のとりこに。以来、組子細工の研究に明け暮れた。

建具製作には、デザイン・材料選定・工作技術の3つの調和が重要となる。巧の作品は、斬新なデザイン、吟味された材料の使用、綿密な設計、経験に裏付けられた確かな技と、どれひとつをとっても他の追随を許さない。特に日本古来の書院障子にかけての技能は業界随一の呼び声が高く、これまで全国建具大会で2度の内閣総理大臣賞や工業技術院賞など数々の賞を受賞。昭和58年には、現代の名工に選出されるなど、その技術の高さを実証している。

「師は自分自身の根性」と言い切る巧。その言葉と生きざまは、弟子たちの手で後世に受け継がれていく、道を極めしものの遺伝子のように。



昭和3年生まれ。昭和47年に樺太から引き揚げ、父とともに建具店を開業。2度の内閣総理大臣賞を受賞したほか、昭和58年には現代の名工に選出される。平成12年には、職人としては最高章となる勲五等瑞宝章を受章した。



芸術の域にまで高められた技

思えば遠く来たもんだ

No.10

十文字地域

佐々木涼子さん(31歳)



石川県羽咋郡宝達志水町出身。夫・長女の3人家族。

涼子さんは、石川県羽咋郡宝達志水町の出身。加賀から能登半島へ向かう入り口にある町で、海が近く、自然豊かな所です。

夫の雅弘さん(十文字出身)とは大学生の時に知り合い、24歳で結婚。それを機に十文字での生活を始め、今年で7年目を迎えます。「初めてこの地に来たのは雪深い2月。生まれた町に比べ十文字は店も多く、都会的な印象を受けました。また『かまくら』の話を聞いたことはありませんが、横手が始まりとは知らなくて」と、雪の多さにも驚いた涼子さんの。現在は、湯沢市の稲川養護学校

に教員として勤務しています。「障害を抱えている子どもは、発達がゆっくりとしているため、覚えるのにも時間を要します。その分、できるようになったときの喜びは何ものにも変えられません。子どもたちに接する度に、初心にかえること、真摯に向き合うことの大切さに気付かれます」と教育への熱い思いを語ります。「障害を持つ人にとってはまだ生活のしにくい社会です。健常者と分け隔てることなく参加できるコミュニティづくり。その輪がこの横手市で大きく広がってくれたらいいですね」と、新市への期待をにじませていました。

石川県 宝達志水町



宝達志水町は石川県のほぼ中央に位置し、山と川と海に囲まれた自然豊かな町です。旧石器時代や加賀藩時代の古墳や史跡が地域に点在しており、歴史・文化のある地です。

■面積 111.68 k
■人口 15,891人
■世帯 4,570世帯

読者プレゼントにご協力を

市報よこてでは、市内業者の皆さんへ「読者プレゼント」へのご協賛をお願いしています。

横手市内にあるたくさんの特産品や名産品を市報を通して市民の皆さんに知っていただくと共に、市内全世帯に配布される広報紙を活用した商品の宣伝に、ぜひ市報よこてをご活用ください。

■連絡先 秘書広報課：広報広聴担当(☎35-2162)

編集後記

◆8月に入りようやく夏らしくなりました。暑さ、熱さは大歓迎。ゆえに冷房はの苦手。クールビズ、地球温暖化防止大賛成。原油の値段も高騰して止まない。今、設定温度をもう一度高く…なんて生ぬるい。電源オフを希望します。(卓)

◆梅雨が明け、本格的な夏がやってきた。少し動いただけで汗が噴き出す。連日の暑さにやられ、ちよつと夏バテ気味です。長かった子どもたちの夏休みもあと少し。今年は2学期がはじまる前に慌てることのないよう、宿題をさせない。(克彦)

◆先月末から引きずっている夏風邪にも、不思議と食欲はなくなり、スィカヒール、枝豆のほか、ナスなど「食べない」と風邪が治らないと、普段より多く食べています。今年の旬は、今年しか味わえませんか。(孝春)

◆カメラや盆踊りなど、取材先で体験する事が多い今年。先日、カメラを持ってカメラに同乗する機会が、「落ちてカメラだけは死守します！」などと言ってしまったが最後。揺れにびくつき、写真どころではないカメラ体験となりました。(小百合)

◎お便りをお寄せください。

よこて遺産

THE YOKOTE HERITAGE
No.10

【十文字地域】

旦那門

市指定有形文化財（建造物）

だんなもん

十文字地域能平喜地区の、「旦那門」と呼ばれている小松家の入口の門。
門は、主柱と控え柱の計4本の柱の上に冠木や梁などを組み合わせ、その上に切妻屋根を組む薬医門と呼ばれる形式。一本のケヤキの木からすべての材料をとったとの伝承があります。

小松家の文書には、宝永年中（1704年～1710年）に屋敷と門を拝領したとあり、現在の門は文化3年（1806年）に完成したことが記録されています。その後、昭和40年（1965年）ころに屋根を杉皮葺きからトタンに葺き替え、また、積雪のため倒壊したこともあって、土台石を丸石から平石に替えて脚を固定しています。

旦那門は、平成元年に十文字町指定有形文化財（建造物）に指定されています。

発行／横手市役所 ☎0182-35-2111(代)

編集・デザイン／総務企画部秘書広報課

〒013-8601 横手市前郷字下三枚橋163 ☎0182-35-2162 ☎0182-33-6061
ホームページアドレス／<http://www.city.yokote.lg.jp/>